

平成31年度 長野県高等学校定時制通信制総合体育大会実施要項（詳細）

- 1 主催 長野県高等学校体育連盟
長野県教育委員会
- 2 共催 (公財) 長野県体育協会
- 3 後援 長野市教育委員会・信濃毎日新聞社
- 4 主管 長野県高等学校体育連盟定通専門部
実施種目専門部
- 5 期日 平成31年6月8日(土)
- 6 会場 飯田 OIDE 長姫高校 (バドミントン、卓球、剣道、柔道、サッカー)
飯田市鼎体育館 (バスケットボール、バレーボール)
桐林室内テニスコート (ソフトテニス)
- 7 日程 9時00分～9時10分 計量(柔道)
9時30分～9時45分 会場ごと開会式
9時45分～10時 各競技会場に移動して競技ごと監督会議
10時10分 競技開始
競技終了後 種目ごと閉会式
- 8 参加資格 選手は長野県高等学校体育連盟に加入している生徒。また、競技団体規定による所定の登録を完了した選手、チームとする。その他については、県総合体育大会参加資格および全国定通体育大会開催基準要項の定通大会参加資格に準ずる。
但し、専門部の特例として
(1) 全日制総合体育大会予選出場者は出場できない
(2) 同一生徒の出場回数は4回までとする
(3) 一人1競技とする。なお、チームの編成は同一学校において、併設校ならば合同チームが認められる。
(4) 出場選手の年齢制限はしない

9 各競技団体への登録について

以下の種目においては、競技団体の登録規定等による参加資格が適用される。

陸上競技・・・当該年度に各都道府県陸上競技協会、(公財)日本陸上競技連盟に登録すること。

柔道・・・当該年度に(公財)全日本柔道連盟に登録すること。

バレーボール・・・当該年度に、JVAメンバー制度にチーム、選手として登録すること。

バスケットボール・・・当該年度に、JBA登録制度にチーム、選手として登録すること。

サッカー・・・当該年度、(公財)日本サッカー協会にチーム及び個人登録すること。

バドミントン・・・当該年度に、(公財)日本バドミントン協会に登録登録すること。

10 競技規則

【バスケットボール】

- (1) 競技規則は当該年度日本バスケットボール協会競技規則に準ずる。但し、競技時間は各10分間のクォーター制とし、第1と第2クォーター、第3と第4クォーターの間に、各2分間、第2と第3クォーターの間に10分間の休憩をいれる。
(10分ー2分休ー10分・10分休・10分ー2分休ー10分)
- (2) 登録人数は1チーム、引率責任者1名、監督(H・コーチ)1名、コーチ(A・コーチ)1名、マネージャー1名、選手15名までとする。
- (3) ユニフォームは規則に定められたものとする。濃淡2色を用意し、共に4～18番での一連番を使用する。
- (4) 組み合わせ番号の若いチームがオフィシャル席に向かって右側のベンチとし、原則として淡色のユニフォームを着用する。
- (5) 試合球は検定球(男子は7号球、女子は6号球)として、各チーム持ち寄りとする。
- (6) 各地区男女それぞれ代表1チームの参加で行う。

【バドミントン】

- (1) 競技規則は現行の（公財）日本バドミントン協会競技規則ならびに同大会運営規程に準ずる。
- (2) 団体戦登録人数は1チーム、引率責任者1名、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手2～4名で編成する。団体戦の順序は男女とも、複・単・単の3ゲームマッチで2ゲーム先取とする。
- (3) 個人戦はシングルスのみ実施する。
- (4) 得点は男女とも団体戦15点3ゲームマッチで行う。但し得点が14点オールになった場合、2点差の得点をしたサイド、更に20点オールになった場合、21点目の得点をしたサイドがそのゲームの勝者となる。
個人戦は男女とも21点3ゲームマッチで行う。但し得点が20点オールになった場合、2点差の得点をしたサイド、更に24点オールになった場合、25点目の得点をしたサイドがそのゲームの勝者となる。
- (5) 選手の服装は（公財）日本バドミントン協会審査合格品（上下）の着用を原則とする。選手は背中にゼッケンをつける。（A4程度の白布に、黒または濃紺で学校名・氏名を記入）
- (6) 使用シャトルは（公財）日本バドミントン協会検定合格球として、主催者が準備する。
- (7) 団体は各地区男女それぞれ代表1チーム、個人は各地区男女それぞれ代表4名の参加で行う。

【ソフトテニス】

- (1) 競技規則は当該年度（公財）日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックに準ずる。
- (2) 試合はすべて7ゲームマッチとする。
- (3) シューズはテニスシューズを使用すること。服装は連盟公認のものに準ずる。
- (4) 選手は県名、姓（苗字）、学校名を表示したゼッケン（A4版大）を背中につけること。（上段：県名、中段：姓（苗字）、下段：校名）
- (5) 試合球は公認（アカエム）として、主催者が準備する。
- (6) 雨天時は、県専門委員・審判長・監督との協議の上、内容を決定する。
- (7) 団体は各地区男女それぞれ代表1チーム（4～6名）、個人は各地区男女それぞれ代表4組の参加で行う。

【卓球】

- (1) 競技規則は現行の（公財）日本卓球協会競技規則に準ずる。（タイムアウト制は適用しない）
- (2) 団体戦の出場チーム数は、各地区男女とも1チームとし、登録人数は1チーム、引率責任者1名、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手は3～6名とする。試合はダブルスを中央に置く4シングル・1ダブルス（単・単・複・単・単）の5試合とし3試合先取法で勝敗を決定する。但し、敗戦チームがトーナメントにおいて初めての試合の場合、希望すれば全試合を実施できる。単・複は重複してもよい。但し、1・2番で複を組まない。オーダーの組み方はAB・PQ方式とし、トスによりそのいずれかを選択する。この場合の両チームはお互いに違う方式をとる。
- (3) 競技別監督会議までに、所定の変更届で提出された場合に限り、選手変更を認める。
- (4) 団体戦・個人戦とも11点3ゲーム先取法とする。
- (5) 試合球は硬球プラスチックボール（白球で日本卓球連盟公認）として、主催者が準備する。
- (6) 服装は競技用の半袖シャツ、短パンツがのぞましい。
- (7) 選手は背面にゼッケンをつけること。（サイズはA4判を基準とし、白地の布に文字は黒を使用すること。最上段に県名、中段に選手名（苗字）、下段に学校名を記入）
- (8) 団体は各地区男女それぞれ代表1チーム（3～6名）、個人は各地区男女それぞれ代表4名の参加で行う。

【剣道】

- (1) 競技規則は、（一財）全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則」・「試合審判規則並びに細則」及び、「全国高体連剣道専門部申し合わせ事項」による。
- (2) 試合はリーグ戦形式とする。試合時間は、「4分三本勝負」とし、時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。リーグ内の順位は勝ち点（勝ち1点、引き分け0.5点、負け0点）制とし、

- 同点の場合は、勝ち数、取得本数により決定する。それでも決しない場合は、同順位者による4分一本勝負の決定戦を行う。時間内に勝敗の決しない場合は延長戦を勝負が決するまで継続する。
- (3) 団体試合男子のチーム編成は、監督1名、選手5名で補欠を2名までとする。やむを得ない場合は、3名以上での参加を認める。同じく女子は、監督1名、選手3名で補欠1名までとする。やむを得ない場合は、2名以上での参加を認める。
 - (4) 竹刀の長さ・重さは規定通り（長さ117cm以内、重さ：男子480g以上・女子420g以上）とし、ビニールテープ等を用いて補強した竹刀の使用は禁止する。つばは、つば止め等を用い必ず固定すること。竹刀の先革先端部直径（先革を付けた状態）はその最小径が、男子26mm以上・女子25mm以上とする。竹刀の先端部（先革を付けない状態）はその最小径が20mm以上とする。先革には竹刀の先端部の寸法に適合するものを使用し、その長さは5cm以上とする。先ゴムには芯がなく、つぶれにくいものを使用する。
 - (5) 竹刀の検量は、大会当日の指定された時間および会場にて行い、合格竹刀には検印を押す。
 - (6) 名札は、前垂に黒地又は紺地に白地で学校名（横書）及び、姓（縦書）の記された布を使用する。

【柔道】

- (1) 競技規則は国際柔道連盟試合審判規定、並びに全国高等学校体育連盟柔道専門部申し合わせ事項による。
- (2) 団体戦は各地区1チームの出場とし、登録人数は男子5名、女子3名、補欠男女とも2名とする。
- (3) 試合時間は、団体戦・個人戦ともに3分間とする。
- (4) 男子個人戦は体重別4階級で行う。区分は、65kg級（65kg以下）、75kg級（65kg超から75kg以下）、90kg級（75kg超から90kg以下）、90kg超級（90kg超以上）とする。
- (5) 女子個人戦は体重別3階級で行う。区分は、52kg級（52kg以下）、63kg級（52kg超から63kg以下）、63kg超級（63kg超以上）とする。
- (6) 柔道着には各自でゼッケンをつけること。
ゼッケン詳細
 - ① 布地は白地（晒（さらし）太綾（ふとあや））
 - ② サイズは横30～35cm、縦25～30cm
 - ③ 名字（姓）は上側2/3、県名は下側1/3
 - ④ 文字は、男子黒色、女子赤色（太文字）として横書きする
 - ⑤ 縫い付けの場所は後ろ襟から5～10cm下
 - ⑥ 対角線にも強い糸で縫いつけする
- (7) 計量は大会当日会場にて行う。計量失格者は試合に出場できない。

【サッカー】

- (1) 競技規則は当該年度（公財）日本サッカー協会競技規則に準ずる。
- (2) 試合時間は前後半合計60分（30分ハーフ）とし、ハーフタイムのインターバルは原則として10分間とする。勝敗が決しない場合は、ペナルティーキック方式により次回戦進出校を決定する。
- (3) 試合開始前に選手と7名以内の交代要員の氏名を主審に通告しておき、主審の許可を得て5名まで交代することができる。
- (4) ユニフォームについて
 - ・全員統一されたユニフォーム（上着、パンツ、ソックス、それぞれメーカーやラインロゴ含む）を着用し、シャツの前面および背面に認知書に登録された選手固有の番号をつけること。
 - ・正副2着、すべて異なる色（GK正副含め4色）のユニフォーム（上着、パンツ、ソックス）を携帯すること。また、審判と類似色（黒・紺）の上着を用いることはできない。
 - ・選手番号は1番から18番までとし、服地と明確に区別し得る色彩（服地が縞柄の場合は台地を付ける）であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- (5) 各地区代表1チームの参加で行う。

【バレーボール】

- (1) 競技規則は当該年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則に準ずる。但し、ネットの高さは男子2m35cm、女子2m15cmとする。全試合25点3セットマッチで行う。
- (2) 登録人数は1チーム、引率責任者1名、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手18名以内とする。
- (3) 全員統一したユニフォームを着用し学校名を表示すること。個人名は表記してはならない。胸番号、背番号、監督章、コーチ章、キャプテン章、マネージャー章は規則に定めるものをつけ、特に番号は1～18までの一連番号とすることが望ましい。
- (4) 試合球は（公財）日本バレーボール協会検定球とする。
平成31年度は男子モルテン（V5M5000）、女子ミカサ（MVA300）を使用し、各チーム持ち寄りとする。
- (5) 各地区男女それぞれ代表1チームの参加で行う。

※いずれの競技も複数の参加校、参加者がある時のみ実施する。

※その他詳細は県高体連定通専門部 HP 掲載の、「定通大会参加の手引き」を参照すること。

1 1 参加料 1人1,000円

今大会に参加申込をしたものの、対戦が組めずに実施されない種目については参加料を返還する。なお、抽選日以降の棄権については、その参加料は返還しない。

1 2 表彰 男女とも各種目3位までに賞状を授与する

1 3 全国大会、北信越大会への出場権及び出場枠について

上位入賞者には全国大会と北信越大会の出場権利が与えられる。大会日程および出場枠は別表を参照のこと。県選抜チームが編成できる競技については、大会終了後に団体競技の優勝監督を中心に関係職員間にて選手編成を決定する。（※バドミントンに関しては、学校単位での団体戦があるが、上位大会への選手選抜は、個人戦の結果にて行う。）また、全国大会、北信越大会の開催要項に従って監督、コーチ等についても協議する。

今大会は、全国大会および北信越大会の予選、選考会を兼ねているので、大会に参加申込が無い場合は、上位大会への参加はできないものとする。

・全国および北信越大会への出場権を得た学校の顧問は、参加説明会を

競技終了後に各会場本部にて行いますので、必ず出席してください。

専門部員の指示により、お集まりください。

1 4 競技中の疾病、傷害等の対応

- ・各会場に救護係を配置する。

競技中の疾病、傷害などの応急処置は、できる範囲において主催者側で行うが、その後の処置および負担については参加者の責任とする。

飯田広域消防本部

電話 0265-23-0119

1 5 生徒参加上および観戦における留意事項

- ・大会参加にあたり、反スポーツマン的言動や秩序をみだすような行為は厳に慎むこと。ルールやマナーを遵守すること。
- ・各会場、駐車場が限られているため、公共交通機関や、乗り合わせでの来校にご協力下さい。

- 上下履きの区別をしっかりとすること。
- 貴重品の管理は参加者の責任で行うこと。
- ごみは持ち帰ること